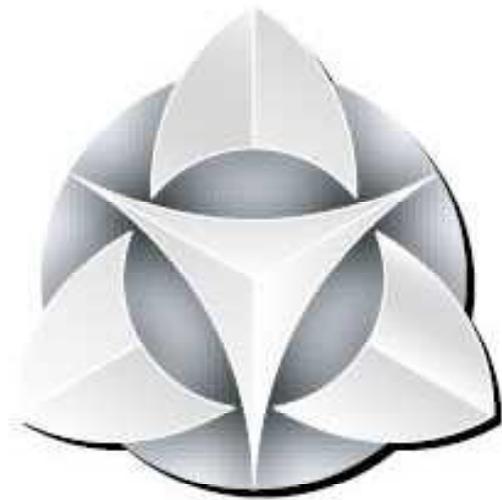


# 科目選択ガイド

(平成29年度入学生用)



京都府立城南菱創高等学校

目次	1		
1 単位制について	2		
(1) 単位制とは			
(2) 単位とは			
(3) 履修とは			
(4) 修得とは			
(5) 卒業するには			
(6) 学年制との違い			
2 科目選択について	4		
(1) 心構え			
(2) 選び方			
(3) 必履修科目と選択必履修科目			
(4) スカラータイムについて			
(5) 注意事項			
3 教育課程	7		
4 設置科目について	8		
(1) 設置科目一覧			
(2) 設置科目の説明			
ア 国語科	イ 地理歴史科	ウ 公民科	エ 数学科
オ 理科	カ 保健体育科	キ 芸術科	ク 外国語科
ケ 家庭科	コ 情報科	サ 福祉科	
5 進路別科目選択例	35		
(1) 国公立四年制大学（理系）	(2) 国公立四年制大学（文系）		
(3) 私立四年制大学（理系）	(4) 私立四年制大学（文系）		
(5) 看護・医療系の短期大学・専門学校	(6) 看護・医療系以外の短期大学・専門学校、就職		

## 1 単位制について

### (1) 単位制とは

学年による教育課程の区分を設けずに教育を行う制度です。多くの科目が設置されているのが特徴で、みなさん一人一人の興味・関心、能力・適性、進路希望などに応じた科目を選択して学習することができます。

また、学年の区分を設けず、「学年」の代わりに入学してからの年数を「年次」と呼びます。従って、みなさんは正式には「1年生」ではなく、「1年次生」と呼ばれることとなります。

### (2) 単位とは

みなさんが高校で勉強する科目の学習量のことを「単位」といいます。ある科目について、1週間当たり1時間（50分）の授業を1年間（35回）通して学んだときの学習量を「1単位」と決めています。それぞれの科目には、「単位数」として学習しなければならない量が決められています。

例えば『現代社会』（2単位）との表記では、『現代社会』では、1週間に2時間、1年間に70時間の授業がある」ことを意味しています。

### (3) 履修とは

ある科目を学習するために、最低限必要な時間数の授業に出席することを「履修」といいます。

本校では、1年間にその授業を休んだ時間数（欠課時数）が標準総授業時数の3分の1未満であれば「履修」したことが認められます。標準総授業時数とは、〔その科目の単位数×35〕に相当する時間数のことです。

例えば、『数学Ⅰ』（4単位）となっていれば、標準総授業時数は  $4 \text{ 単位} \times 35 = 140$  時間なので、欠課時数が47（ $140 \div 3 \div 46.7$ ）時間未満ならば、「履修」が認められます。

### (4) 修得とは

ある科目の授業に十分に出席して、学習内容を身につけることを「修得」といいます。

本校では、その授業の欠課時数が標準総授業時数の5分の1以下で、5段階評定の2以上（10段階評定の3以上）のとき、その科目の単位の「修得」が認められます。

ただし、欠課時数が5分の1を超え、3分の1未満のとき、特に事情があり、その事情について、校長がやむを得ないと判断した場合のみ考慮されることがあります。

(5) 卒業するには

本校普通科では、以下の条件を満たせば卒業が認定されます。

- ア 「教科・科目」及び「総合的な学習の時間」の修得単位数の合計が84単位以上であること。
- イ 「学校設定科目」の修得単位数の合計が20単位以内であること。
- ウ 「必履修科目」をすべて履修していること。
- エ 「総合的な学習の時間」を履修していること。
- オ 「特別活動」を履修し、その成果が満足するものと認められること。

3年次までに、卒業条件を満たすことができなければ、卒業の認定がされず、4年次生になって学習することになります。

(6) 学年制との違い

学年制の高校では、学年ごとに単位の修得を判定し、所定の単位を修得するとその学年を「修了」し、次の学年に「進級」することができます。こうして、1学年、2学年、3学年と進級し、3学年を修了すれば、卒業が認定されます。しかし、その学年で所定の単位を修得できない生徒は、次の学年に進級することができず、もう一度、同じ学年をやり直すことになります。つまり、修得できた科目もできなかった科目も関係なく、その学年の科目をすべて学習し直すことになります。

これを「原級留置」と呼んでいます。

本校は単位制なので、学年の「修了」や「進級」、「原級留置」はありません。何らかの理由で修得できない科目が一部あったとしても、その年次のすべての科目をやり直す必要はありません。

修得できた科目の単位は、すべて卒業に必要な単位数として活かすことができます。

また、学年制では設置されている科目の数が少なく、選択できる科目も限定されています。

しかし、単位制の本校では設置されている科目が多く、みなさんの興味・関心、能力・適性、進路希望などに応じて、多様な科目選択が可能です。

3 教育課程

単位数	1年次	選択ゾーン	2年次		選択ゾーン	3年次			
1	国語総合		数学Ⅱ			体 育			
2									
3									
4									
5	現代社会		体 育		A1	コミュニケーション英語Ⅲ 英語Ⅱ総合			
6									
7									
8	数学Ⅰ		コミュニケーション 英語Ⅱ		A2	現代文 B		現代文 B	
9						[文下]		[理下]	
10									
11									
12	数学 A	①	現代文 B [文上]	現代文 B	B	数学Ⅲ	B1	古典 B, 数学特講, 家庭研究 音楽Ⅲ, 美術Ⅲ, 書道Ⅲ	
13				[理上]					
14	化学基礎		古典 B			B2	B3	国語表現, 英語表現Ⅱ 実用文書処理	
15									
16	生物基礎	古典 B	地理 B[上]		B3		古典 B, 数学特講Ⅰ 英語特講		
17			世界史 A						
18	体 育	②	物理基礎		C1	古典 B, 世界史 A, 日本史 A, 地理 B[下], 政治・経済 現社特講, 数特記述, アートミックス, 英語特講, 社福基礎			
19			地学基礎						
20	保 健	③	世界史 B		C2	古典 B, 古典特講, 世界史 A, 日本史 A, 倫理, 物理特講 生物特講, 地学特講, 英語特講, 発達と保育			
21	芸術Ⅰ		日本史 B						
22			化学		C3	古典特講, 数学特講Ⅰ, 化学特講, 生化基特, 生地基特 地化基特, 実用書道, 英語表現Ⅱ, 実践英語, 生活と福祉			
23	生物								
24	コミュニケーション 英語Ⅰ	④	数学 B		C4	国語表現, 古典特講, 生化基特, 生地基特, 地化基特 スポーツⅡ[β], 音楽総合, 描写, 英語表現Ⅱ, 英語特講			
25			英語表現Ⅱ						
26									
27	英語表現Ⅰ	⑤	世界史 A 音楽Ⅱ		C5	古典特講, 世界史 A, 日本史 A, 地理 A, 現社特講 科学実験, 音楽総合, 英語特講, 社福基礎			
28			地理 A 美術Ⅱ						
29	家庭基礎		日本史 A 書道Ⅱ		D	世界史特講 日本史特講 物理, 生物 地学	D1	スポーツ福祉, 情報の科学	
30			数学 B 英語表現Ⅱ 社福基礎, スポーツⅡ[α] 上記より2科目選択						
31	社会と情報	総合的な学習の		総合的な学習の時間					
32		時間							
33	ホームルーム		ホームルーム			ホームルーム			

4 設置科目について

(1) 設置科目一覧

教科	年次	科目名 (単位数)	選択ゾーン	備考
国語	1	国語総合 (5)		必履修科目
	2	現代文 B [文上] (3)	①	2年次『古典 B』(3) とセット
		現代文 B [理上] (2)	①	2年次『古典 B』(2) とセット
		古典 B (3)	①	2年次『現代文 B [文上]』とセット
		古典 B (2)	①	2年次『現代文 B [理上]』とセット
	3	現代文 B [文下] (3)	A2	
		現代文 B [理下] (3)	A2	
		古典 B (3)	B1	
		古典 B (2)	B3, C1, C2	
		国語表現 (2)	B2, C4	
古典特講 (2)		C2, C3, C4, C5	学校設定科目	
地理歴史	2	世界史 A (2)	①, ⑤	<p>&lt; 選択必履修科目 &gt; <b>重要</b></p> <p>『世界史 A』、『世界史 B』(○印) から 1 科目以上、かつ『日本史 A』、『日本史 B』、『地理 A』、『地理 B』(△印) から 1 科目以上を履修しなければならない。</p> <p>※ 2 年次に『地理 B [上]』を履修した者は、必ず 3 年次に『地理 B [下]』を履修しなければならない。</p>
		世界史 B (4)	③	
		日本史 A (2)	⑤	
		日本史 B (4)	③	
		地理 A (2)	⑤	
		地理 B [上] ※ (2)	①	
	3	世界史 A (2)	C1, C2, C5	
		日本史 A (2)	C1, C2, C5	
		地理 A (2)	C5	
		地理 B [下] ※ (2)	C1	
		世界史特講 (4)	D	学校設定科目
		日本史特講 (4)	D	学校設定科目
公民	1	現代社会 (2)		必履修科目
	3	倫理 (2)	C2	
		政治・経済 (2)	C1	
		現代社会特講 (2)	C1, C5	学校設定科目
数学	1	数学 I (4)		必履修科目
		数学 A (2)		
	2	数学 II (4)		
		数学 B (3)	④	
		数学 B (2)	⑤	
	3	数学 III (7)	B	
		数学特講 (3)	B1	学校設定科目
		数学特講 I (2)	B3, C3	学校設定科目
		数学特講 B (4)	B2・B3	学校設定科目
		数学特講記述 (2)	C1	学校設定科目
理科	1	化学基礎 (2)		必履修科目
		生物基礎 (2)		必履修科目
	2	物理基礎 (2)	②	<p>&lt; 選択必履修科目 &gt; <b>重要</b></p> <p>『物理基礎』、『地学基礎』(○印) のどちらか 1 科目を履修しなければならない。</p>
		地学基礎 (2)	②	
		化学 (4)	③	
		生物 (4)	③	

教科	年次	科目名 (単位数)	選択ゾーン	備考
理科	3	物理 (4)	D	
		生物 (4)	D	
		地学 (4)	D	
		物理特講 (2)	C2	学校設定科目
		化学特講 (2)	C3	学校設定科目
		生物特講 (2)	C2	学校設定科目
		地学特講 (2)	C2	学校設定科目
		生物化学基礎特講 (2)	C3,C4	学校設定科目
		生物地学基礎特講 (2)	C3,C4	学校設定科目
		地学化学基礎特講 (2)	C3,C4	学校設定科目
		科学実験 (2)	C5	学校設定科目
地球環境 (2)	D2	学校設定科目		
保健体育	1	体育 (2)		必履修科目
		保健 (1)		必履修科目
	2	体育 (2)		必履修科目
		保健 (1)		必履修科目
	3	スポーツⅡ [α] (2)	⑤	
		体育 (3)		必履修科目
芸術	1	音楽Ⅰ (2)		< 選択必履修科目 > 『音楽Ⅰ』、『美術Ⅰ』、『書道Ⅰ』から1科目を履修しなければならない。
		美術Ⅰ (2)		
		書道Ⅰ (2)		
	2	音楽Ⅱ (2)	⑤	
		美術Ⅱ (2)	⑤	
		書道Ⅱ (2)	⑤	
	3	音楽Ⅲ (3)	B1	
		美術Ⅲ (3)	B1	
		書道Ⅲ (3)	B1	
		工芸Ⅰ (2)	D2	
		アートミックス (2)	C1	学校設定科目
実用書道 (2)	C3	学校設定科目		
音楽総合 (2)	C4,C5	学校設定科目		
描写 (2)	C4	学校設定科目		
外国語	1	コミュニケーション英語Ⅰ (4)		必履修科目
		英語表現Ⅰ (2)		
	2	コミュニケーション英語Ⅱ (4)		
		英語表現Ⅱ (3)	④	
	3	英語表現Ⅱ (2)	⑤	
		英語表現Ⅱ (2)	B2,C3,C4	
		コミュニケーション英語Ⅲ (4)	A1	
英語Ⅱ総合 (4)	A1	学校設定科目		
英語特講 (2)	B3,C1,C2,C4,C5	学校設定科目		
実践英語 (2)	C3	学校設定科目		
家庭	1	家庭基礎 (2)		必履修科目
	3	子どもの発達と保育 (2)	C2	
		生活と福祉 (2)	C3	
		家庭研究 (3)	B1	学校設定科目
情報	1	社会と情報 (2)		必履修科目
	3	情報の科学 (2)	D1	
		実用文書処理 (2)	B2	学校設定科目
福祉	2	社会福祉基礎 (2)	⑤	
	3	社会福祉基礎 (2)	C1,C5	

## (2) 設置科目の説明

## ア 国語科

2年次	現代文B [文上]	3単位	普通	選択ゾーン ①
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』が履修済みであること。</li> <li>2年次の『古典B (3)』と併せて選択すること。</li> </ul>			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』で学習した内容を深化・発展させ、より高度で複雑な明治以降の文章をとおして、論理的なものの見方・感じ方・考え方を深め、さらにそれらを発表することによって表現力を身につける。</li> <li>定期考査、小テスト、課題テスト、提出物などをもとに評価する。</li> </ul>			
教科からの アドバイス	3年次に『現代文B [文下]』を選択することを想定して授業を進める。			

2年次	現代文B [理上]	2単位	普通	選択ゾーン ①
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』が履修済みであること。</li> <li>2年次に『古典B (2)』を併せて選択すること。</li> </ul>			
内 容	現代文B [文上] に同じ			
教科からの アドバイス	3年次に『現代文B [理下]』を選択することを想定して授業を進める。			

2年次	古典B	3単位	普通	選択ゾーン ①
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』が履修済みであること。</li> <li>2年次に『現代文B [文上]』を併せて選択すること。</li> </ul>			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』で学習した内容を深化・発展させ、古文・漢文の作品をとおして、語彙力・文法力・読解力・鑑賞力を養う。</li> <li>定期考査、小テスト、課題テスト、提出物などをもとに評価する。</li> </ul>			
教科からの アドバイス	特になし			

2年次	古典B	2単位	普通	選択ゾーン ①
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』が履修済みであること。</li> <li>2年次に『現代文B [理上]』を併せて選択すること。</li> </ul>			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>『国語総合』で学習した内容を深化・発展させ、古文・漢文の作品をとおして、語彙力・文法力・読解力・鑑賞力を養う。</li> <li>定期考査、小テスト、課題テスト、提出物などをもとに評価する。</li> </ul>			
教科からの アドバイス	特になし			

## イ 地理歴史科

### 【重要】点検項目

- 1 『世界史 A』、『世界史 B』 から 1 科目以上を履修すること。
- 2 『日本史 A』、『日本史 B』、『地理 A』、『地理 B』 の 4 科目の中から、1 科目以上を履修すること。

2, 3 年次	世界史 A	2 単位	普通 共修	選択ゾーン ①, ⑤, C1, C2, C5
履修条件	特になし。ただし、卒業のためには、少なくとも『世界史 A』又は『世界史 B』のいずれかを履修しなければならないので、注意すること。			
内 容	<p>原始・古代・中世にも触れながら世界の諸文明の歴史を学習する。近現代史に重点をおき、講義主体の授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民革命とその後の世界</li> <li>・ 19 世紀の世界</li> <li>・ 現代の世界</li> </ul> <p>定期考査、提出物等や授業に対する取り組みをもとに評価する。</p>			
教科からのアドバイス	例えば理系を希望する人など、少ない単位数で簡潔に『世界史』を学習したい人に向いている。受験科目として『世界史 A』では関西地区私学の受験はできない。また、センター 『世界史 A』はかなり高度な内容であるため受験には不向きである。			

2 年次	世界史 B	4 単位	普通	選択ゾーン ③
履修条件	特になし。ただし、卒業のためには、少なくとも『世界史 A』又は『世界史 B』のいずれかを履修しなければならないので、注意すること。			
内 容	<p>世界の歴史の大きな流れを、時代や地域（文化圏）ごとに学び、重要なことがらを関連づけながら理解する科目である。主な学習項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人類の出現、文明のおこり（オリエント文明、地中海文明、アジアの古代文明）</li> <li>・ 東アジア世界の形成</li> <li>・ イスラム世界の形成</li> <li>・ ヨーロッパ世界の形成</li> <li>・ 近代ヨーロッパの形成・成長・発展</li> <li>・ 欧米列強によるアジア・アフリカ諸国の侵略</li> </ul> <p>定期考査、提出物等や授業に対する取り組みをもとに評価する。</p>			
教科からのアドバイス	『世界史 B』を受験科目にする人や、世界史を詳しく学習したい人向けの科目である。『世界史 B』を受験科目にする人は、2 年次に『世界史 B』を選択し、3 年次に『世界史特講』を選択すること。			

## ケ 家庭科

3年次	子どもの発達と保育	2単位	普通 ----- 共修	選択ゾーン C2
履修条件	『家庭基礎』を履修済みであること。			
内 容	<p>子どもの発達と保育に関する知識と技術の習得を日指し、子どもの健全な成長を図る能力と実践的な態度を育成することを目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達と子どもの生活</li> <li>・家庭保育と集団保育</li> <li>・保育所体験実習（3回）</li> <li>・保育者の役割</li> <li>・児童文化財の製作（創作絵本）</li> <li>・製菓・調理実習（5回）</li> </ul> <p>定期考査、レポート、作品等をもとに評価する。</p>			
教科からのアドバイス	<p>教育・保育・家政・生活科学系の学部・学科・職業を進路先に考えている生徒は、選択すると良い。</p> <p>AO・推薦入試や国公立2次等での面接試験や小論文試験対策にもなる。</p>			

3年次	生活と福祉	2単位	普通 ----- 共修	選択ゾーン C3
履修条件	『家庭基礎』を履修済みであること。			
内 容	<p>乳幼児の発達から高齢者介護まで、家族の健康と福祉に関する知識と基礎的な技術を学ぶ。健康管理や基本的な介護ができる能力と態度を身につけることを目標としている。視聴覚教材や新聞記事を読み、命の尊さや人権の尊厳を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防と看護</li> <li>・高齢者介護の基本</li> <li>・介護食調理実習（8回）</li> <li>・家庭看護の基本技術【日赤講師4回】</li> <li>・高齢者介護の基本技術</li> <li>・認知症あんしんサポーター養成講座受講</li> </ul> <p>定期考査、レポート、実技等をもとに評価する。</p>			
教科からのアドバイス	<p>医療看護系・教育保育系・栄養系・福祉系・家政・生活科学系の学部・学科・職業を進路先に考えている生徒は、選択すると良い。AO・推薦入試や国公立2次等での面接試験や小論文対策にもなる。</p>			

3年次	家庭研究	3単位	普通 ----- 共修	選択ゾーン B1
履修条件	『家庭基礎』を履修済みであること。			
内 容	<p>家庭基礎で学んだ知識や技術を更に充実、発展させ、家庭生活を健康で合理的に営む知識や実践的な態度を育てることを目標としている。主に実習を中心に学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服実習（リバーシブルエコバッグ・ペンケースなど）</li> <li>・調理実習（製菓・製パンを含む10回）</li> <li>・住居関連実習（紙バンドのかご制作）</li> <li>・家庭経済等の演習</li> <li>・伝統文化に関する実習（華道・茶道・きもの）</li> </ul> <p>定期考査、レポート、作品等をもとに評価する。</p>			
教科からのアドバイス	<p>家庭基礎で学んだ知識をより実践的に深く学ぶ科目で、自主的に取り組む姿勢が求められる。教育系・保育系・栄養系・福祉系・家政・生活科学系の学部・学科・職業を進路先に考えている生徒は、選択すると良い。AO・推薦入試や国公立2次等での面接試験や小論文対策にもなる。</p>			

サ 福祉科

2・3年次	社会福祉基礎	2単位	普通 ----- 共修	選択ゾーン ⑤, C1, C5
履修条件	特になし。「福祉」に興味のある者であれば誰でも履修することができる。			
内 容	<p>「社会福祉」のみならず、「福祉」全般に関心のある者を対象に、科目名のとおり「基礎」を学ぶことを目的とする。講義を基本として、適宜、実技や福祉現場の方の講話なども取り入れる予定である。具体的項目は主に次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉の制度・現状」</li> <li>・「高齢者福祉」</li> <li>・「障害者福祉」</li> <li>・「子ども家庭福祉」などの講義、テーマを設定した調べ学習。</li> <li>・車椅子、足湯体験等の実技。</li> <li>・定期考査、レポート、実技などにより評価を行う。</li> </ul>			
教科からの アドバイス	<p>「福祉の心」を育むためにその基本となる基礎知識を習得する気持ちで履修してほしい。他の福祉関連科目の基本となる科目である。また、福祉系進学者のみならず医療看護、保育系の進路を考えている者にも参考になる科目である。</p>			